

2017



論壇

Contribution to
JAHFA



モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ

株式会社SUBARU
代表取締役社長
吉永 泰之

はじめに

2014年5月、SUBARUブランドの更なる強化を目指し、中期経営ビジョン「際立とう2020」を発表しました。以来、お客様の心の中で際立つ存在になるべく、商品、販売、アフターサービスなどのあらゆる面で、お客様に『安心と愉しさ』という価値を提供することに注力してまいりました。

また、この4月には、国内外で親しまれているSUBARUというブランド名を社名に採り入れ、株式会社SUBARUへと社名変更をいたしました。これは、私たちSUBARUが従来の「モノをつくる会社から、お客様の笑顔をつくる会社へ。」と生まれ変わろうという、新たな成長へのスタートをきる決意表明でもあります。私たちが提供するのは商品ですが、その先にあるお客様の人生が豊かで笑顔にあふれたものになると、それこそがSUBARUブランドの使命だと考えるからです。

近年、“SUBARUとともにある人生”を愉しんでくださるお客様が日本だけでなく、米国をはじめとするグローバル市場で増えていることを実感しています。大切な家族・友人やペットと共に旅行を愉しむ方、趣味の道具を沢山詰め込みアウトドアクティビティー

を愉しむ方、ドライブやモータースポーツを愉しむ方など、その愉しみ方は様々で、どのお客様も長い期間にわたってSUBARUをご愛用くださっています。お客様に不可欠なパートナーとしてSUBARUをお選びいただいているその理由は、我々が長年追求してきたSUBARUならではの安全性能にあると考えています。

SUBARUブランドの提供価値『安心』

高い安全性能を絶対条件とする航空機メーカーとして100年前に誕生して以来、SUBARUには最高水準の安全を追求するDNAが根付いています。日本のJNCAPをはじめ、米国IIHSトップセーフティピック

はじまる、
SUBARU

富士重工業株式会社は、株式会社SUBARUへ。
モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ。

等、世界各国の第三者機関による安全性評価において、SUBARU車の衝突安全性能は軒並み最高評価を獲得し続けています。直近では、10月にコンパクトSUV新型XVが米国IIHSトップセーフティピック+を獲得しました。

同じく世界各国で高評価を頂いております予防安全性能につきましては、20年以上の開発ノウハウを蓄積し、独自の運転支援システム・アイサイト搭載車累計販売はグローバルで約150万台にのぼります。

しかし、アイサイトの進化は止まりません。本年6月に発表しました新技術アイサイト・ツーリングアシストでは、高速道路渋滞時の低速度域での追従操舵を実現しました。この将来の自動運転につながる技術を、本年7月には日本国内でレヴォーグ、WRX S4に標準装備し、高度な安全性と利便性をお客様に提供させていただいております。また更なる開発加速のため、北海道の弊社研究実験センターに高度運転支援技術開発コースを新設しました。今後もアイサイトをベースとした独自の自動運転技術開発により、お客様に安心・快適な運転環境を提供し続けてまいります。

SUBARUブランドの提供価値『愉しさ』

業界全体で自動運転技術や電動化技術が普及する中、各国で順次販売を開始しております新型XVは、日本や米国をはじめ、大変好調な販売状況です。競争が激化するSUV市場においても、小規模なSUBARUがグローバル市場でお客様からご支持いただけている理由、それは『安心』に支えられた、『愉しさ』にあると考えています。



進化を続けるスバルの運転支援技術「アイサイト」

SUBARUのお客様は、クルマを単なる移動手段の道具としてではなく、それぞれのライフスタイルに合った、強いこだわりをお持ちです。我々もお客様の多様なニーズに応えるべく、SUBARU独自の『愉しさ』をもっと進化させようとしています。中でも、走る『愉しさ』こそ、SUBARUがお客様に提供すべき付加価値ではないかと考えています。

SUBARUには約40年に渡り培ってきたモータースポーツヘリテージがあり、その積み重ねの上に、SUBARUの走りの象徴であるSTIブランドがあります。先の第45回東京モーターショーで発表させていただきました、SUBARUとSTIで共同開発した「S208」、「BRZ STI Sport」は大変好評を博しております。このようなお客様からの熱烈な反響からも、クルマの『愉しさ』をもっと知っていただき、もっと沢山提供して行かなければならぬと強く感じております。

最後になりますが、この先の将来についても我々の開発ポリシーは変わりません。安心・安全のブランドとして、事故ゼロを追求する自動運転技術開発においても、単なる無人運転ではなく、人を中心としたクルマづくりにこだわって行きます。また、環境対応として今後市場投入予定の電動車開発においても、SUBARUらしい『安心と愉しさ』を追求し続けます。SUBARUにお乗りいただくお客様に、もっと多くの笑顔が生まれるよう、今まで以上に際立つSUBARUを実現していきます。引き続き、今後のSUBARUにご期待ください。



より多くのお客様に走る愉しさを。「BRZ STI Sport」